



# しばた議会だより



(第9回柴田さくらマラソン大会)

## 桜も満開、笑顔も満開 + Run Run

- 議会常任委員会構成・新体制でスタート ..... 2 ~ 3
- 3月会議(定例)
  - 平成27年度当初予算可決 ..... 4 ~ 5
  - 総括質疑(6人) ..... 6 ~ 7
  - みんなの税金どう使うの? 予算審査特別委員会 ..... 8 ~ 10
  - 介護保険料改正へ ..... 11
- 3月会議<<補正予算>>
  - 2月会議(臨時)・4月会議(通年議会開会) ..... 12
- 本会議の出欠状況・議案などの審議結果 ..... 13
- 一般質問(15人)・その他の質問 ..... 14 ~ 22
- 常任委員会レポート ..... 23
- あなたの一言(土井 絵美さん 船岡新栄在住) ..... 24



# 体制でスタート

バーが改選されましたので紹介します。

- ◎議員の任期4年間を、前期2年(平成25年度～26年度)と後期2年(平成27年度～28年度)に分け、今回、各常任委員会と議会運営委員会のメンバーを改選しました。
- ◎議長と副議長の任期は4年です。今回の改選はありません。

議会と町長は、対等の立場に立って互いに尊重し、議論し合いながら明るく住みよい柴田町をつくるよう努めています。

議会は、この2年間、町民に開かれた議会を目指し、議会懇談会をはじめとしてさまざまな取り組みを進めてまいりました。

議員として、4年間の任期の半分が過ぎ、今回、新たな常任委員会が決まりました。今後、常任委員会活動を充実させるなど、町民に信頼される町議会を目指して、議員18人、鋭意努力してまいります。



議長 加藤克明

## 議会運営委員会

議会の円滑な運営について協議する。



- 委員長 高橋たい子
- 副委員長 広沢 真
- 委員 舟山 彰
- 委員 安部 俊三
- 委員 水戸 義裕
- 委員 白内恵美子

## 総務常任委員会

- 担当する課
- ・総務課
  - ・まちづくり政策課
  - ・財政課
  - ・税務課
  - ・町民環境課
  - ・会計課
  - ・槻木事務所



- 委員長 水戸 義裕
- 副委員長 白内恵美子
- 委員 安部 俊三
- 委員 平間 幸弘
- 委員 秋本 好則

後期

# 議会常任委員会構成 新

4月会議(4月1日開催)にて、各常任委員会や議会運営委員会の構成メン

## 文教厚生

### 常任委員会

担当する課

- ・健康推進課
- ・福祉課
- ・子ども家庭課
- ・教育総務課
- ・生涯学習課
- ・スポーツ振興課



委員長  
高橋 たい子  
副委員長  
佐々木 守  
委員  
桜場 政行  
委員  
有賀 光子  
委員  
平間 奈緒美  
委員  
斎藤 義勝

## 産業建設

### 常任委員会

担当する課

- ・農政課
- ・農業委員会
- ・商工観光課
- ・都市建設課
- ・上下水道課



委員長  
舟山 彰  
副委員長  
佐々木 裕子  
委員  
広沢 真  
委員  
我妻 弘国  
委員  
星 吉郎  
委員  
吉田 和夫

## 議会広報

### 常任委員会

しばた議会だよりを編集するなど、議会広報に関することを担当する。



委員長  
安部 俊三  
副委員長  
平間 奈緒美  
委員  
吉田 和夫  
委員  
桜場 政行  
委員  
平間 幸弘  
委員  
秋本 好則  
委員  
斎藤 義勝



# 活環境整備の充実

億円など総額252億円の予算に

当初予算

可決

3月会議は、3月9日から19日までの日程で開かれ、平成27年度予算などの審議を行いました。一般会計135億365万円は賛成多数で、各種特別会計予算、水道事業会計予算は全会一致で可決されました。

## 一般会計予算 対前年度比17・7割の増

平成27年度当初予算は、(仮称)仙南クリーンセンター負担金、町営住宅の建設、道路の新設や維持、船迫小学校のプール改築工事などの事業を盛り込んだことで、一般会計の予算総額が、対前年度比17・7割増の135億365万円となりました。

歳入の主なものは、町税と地方交付税で、73億606万円です。

町債(町の借金)は、北船岡町営住宅3号棟新築工事や船迫小学校プール改築工事などにより、17億3千940万円となります。27年度末の町債残高は、5億9千750万円増え、合計135億2千28万円となる見込みです。

歳出は、消費税率引き上げに伴う負担増のほか、扶助費が増加傾向にあります。また、投資的経費として、町営住宅や道路、公園など大型の公共インフラ整備がピークを迎えるため、25億774万円と、対前年度比10億7千989万円、75・6割増加となります。

中長期的な財政運営は、公共インフラの維持管理、都市インフラの整備、スポーツ・文化施設の整備など多額の費用を要するため、難しいかじ取りを迫られています。今後とも財政規律に沿って間違いのない自治体経営を行う必要があります。議会としても検証していきます。

### 本年度の主な事業

\* 船迫小学校プール改築工事

\* 北船岡町営住宅3号棟新築工事

\* (仮称)仙南クリーンセンター負担金

\* 太陽の村に「ふわふわドーム」の設置

\* 学校体育館天井改修工事

船迫小学校  
船岡中学校



建設が進む北船岡町営住宅3号棟



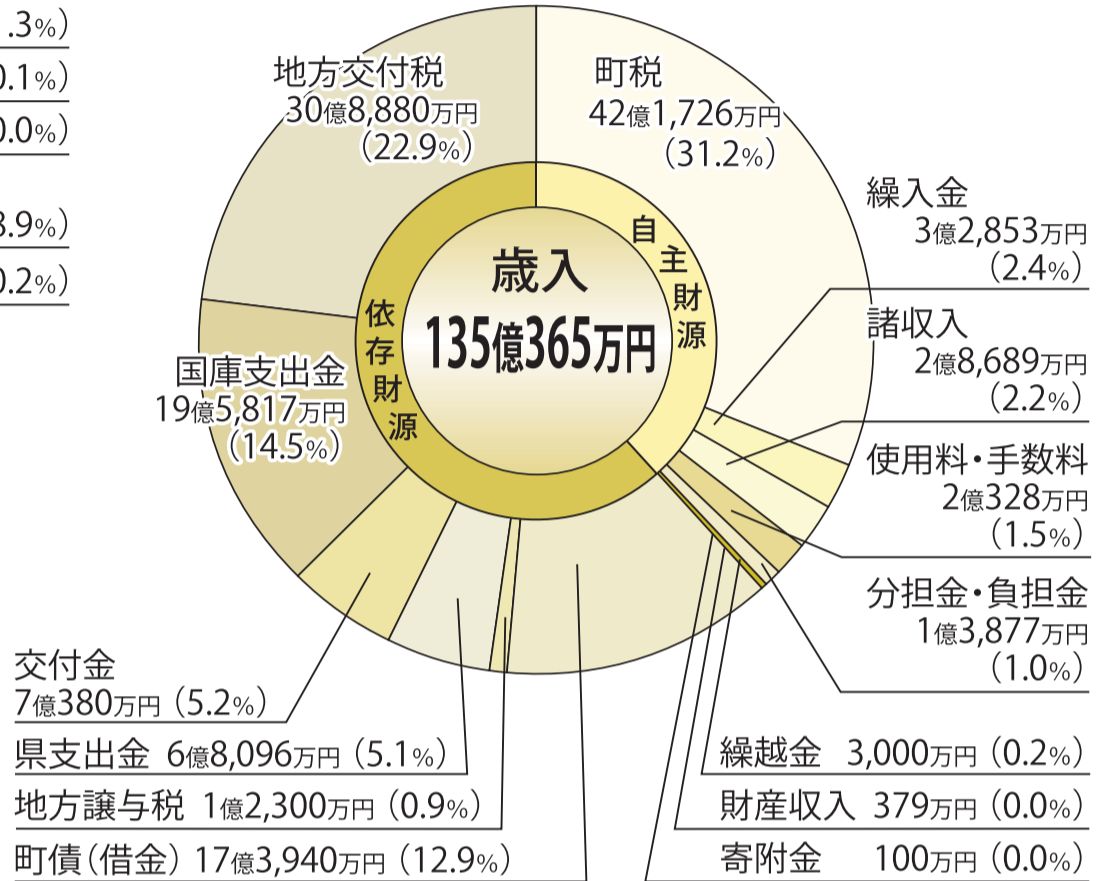
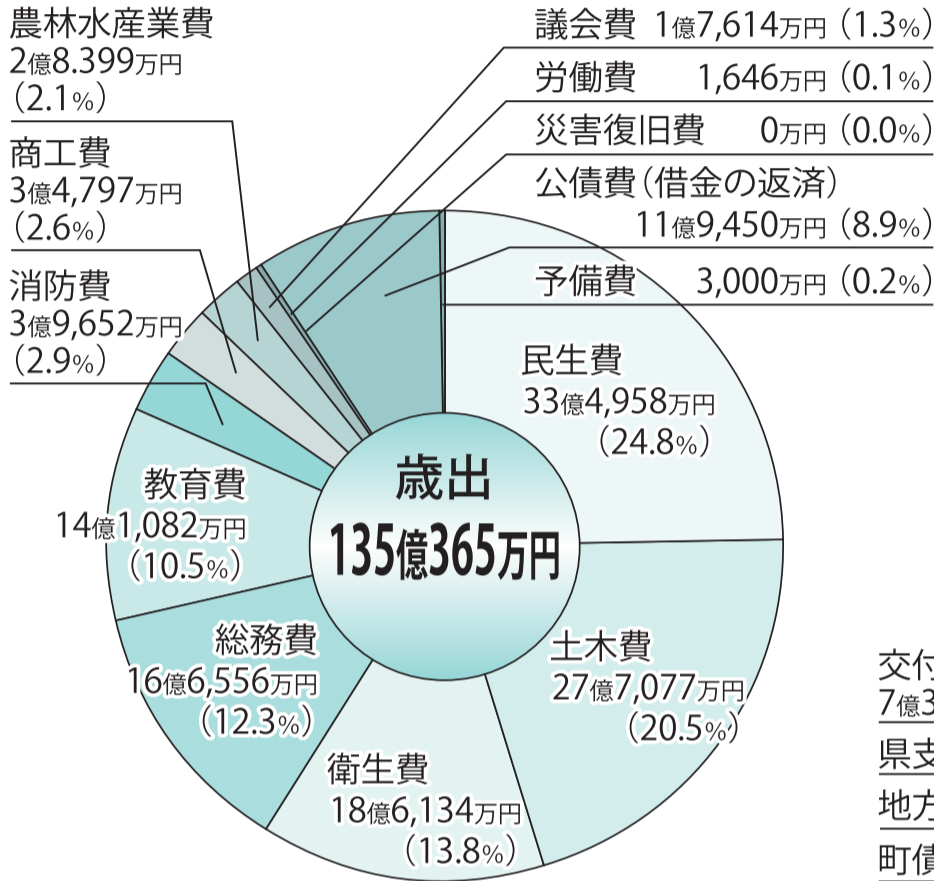
改築が決まった船迫小学校プール



平成  
27  
年度

# 教育・子育て支援・生

## 過去最高の予算規模 一般会計135



- \* 小規模保育の実施
- \* 柴田小学校区に「地域おこし協力隊」を誘致
- \* 道路新設改良事業
- \* ナラ枯れ対策
- \* 「総合型地域スポーツクラブ」の支援
- \* 船岡小学校の大規模改造工事のための実施設計業務委託
- \* 柴田さくらマラソン実行委員会補助金
- \* 太陽光発電設備工事
- 船迫こどもセンター
- 船迫生涯学習センター
- 船岡生涯学習センター
- \* 公共下水道の整備
- 船岡新栄地区
- 上名生大原地区

**反対討論**  
**広沢 真議員**

一般会計予算でムダな予算を使っているとは考えない。しかし、消費税増税や物価高騰で追い詰められている地域経済への施策は、リフォーム助成制度など、地域に密着した予算に踏み込んでいくべきだと考える。

**賛成討論**  
**平間幸弘議員**

過去最高の135億365万円の予算は、生活基盤整備を優先に、道路関連経費や雨水対策事業、町営住宅建設事業などの都市基盤の整備経費を計上した。その他、児童施設の充実、町民の要求に積極的に応えたものである。

### 各会計の当初予算額

会計区分	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
一般会計	135 億 365 万円	114 億 7,708 万円	17.7%
特別会計	103 億 4,098 万円	96 億 3,889 万円	7.3%
国民健康保険事業	47 億 2,180 万円	40 億 8,966 万円	15.5%
公共下水道事業	24 億 9,068 万円	25 億 5,050 万円	△2.3%
介護保険	26 億 9,248 万円	25 億 5,990 万円	5.2%
後期高齢者医療	3 億 8,589 万円	3 億 8,853 万円	△0.7%
土地取得	5,013 万円	5,030 万円	△0.3%
水道事業会計	13 億 6,113 万円	14 億 537 万円	△3.1%
予算総額	252 億 576 万円	225 億 2,134 万円	11.9%



総括質疑



秋本好則 議員

**問** 柴田のまちづくりの骨格は

(1) 建物や橋、道路、上下水道などの老朽化が社会問題になっている。平成27年度から公共施設マネジメントを作るとの説明があったが、施政方針に示されていない。理由は、

(2) 商工活性化策には行政にしかできない分野があり、異業種交流はこれに当たると思う。見解は、

(3) 手本にする小布施町は、受け継いだものの価値を再発見し、引き継いでいくまちづくりで、2006年から「里道プロジェクト」が始まり、2007年から指定が始まっている。これを模した※1フットパスはどのように進めるのか。

**町長** ※2 公共施設マネジメントをつくる

(1) 平成27・28年度の2カ年で作り、住民に情報を提供していく。しかし、特に槻木地区の住民には、槻木事務所や槻木体育館の統廃合が伴う見直しを受け入れてもらえる状況にないのであえて触れなかった。

(2) ※3 地方創生先行型で、異業種ビジネス事業を行い、町の小規模工場の技術交流を通じて新たな仕事や新製品を開発する事業を支援していく。

(3) フットパスは、住民との協働で進める。フォーラムを開催して実行委員会を立ち上げ、整備方針や景観デザイン、ルート開発などを実施していく。

※1 フットパス 地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと。

※2 公共施設マネジメント 最

大効果を最小コストで得る施設の管理手法。

※3 地方創生先行型 地域経済の活性化を図るための緊急支援事業。

総括質疑



白内恵美子 議員

**問** 将来の財政見通しを明確にすべきでは

施政方針では、将来の財政見通しが明確に示されていない。財政の健全化が自治体の使命であることを肝に銘じ、早急に公共施設マネジメントの策定に取り組み、中長期的な財政見通しを策定すべきではないか。

図書館や体育館の規模は、理想だけで語ることはできない。財政見通しを明示した上で検討すべきである。新たな事業を行えば将来の負担が増えることを、住民に分かりやすい言葉で説明し、理解いただくことが大切である。今後の財政運営は、議会と十分に議論して決めるべきでは。

**町長** 中長期的な財政計画策定は困難である

町の財政は財政健全化判断比率から見れば、実質公債費比率も将来負担比率も年々低下し好転している。公共施設マネジメントは、平成27・28年度の2カ年かけて策定する予定である。

歳入・歳出とも、国の動向や広域行政の負担金などの外的要因に強く影響されることから、町単独での中長期的な財政計画策定は困難である。

今後、公共施設マネジメントを推進すれば、事業の大幅な遅れや新たな施設を造れない状況が予測されるので、議会と議論し実施時期を決めたい。

総括質疑



斎藤義勝 議員

**問** 槻木旧4号線沿いの排水路計画は

地盤の低い槻木地区において長年の課題であった南浦の雨水対策工事が、昨年からは始めて3月末で第1期目が終了する。この地区は、駅にも近く利便性が高いため、昭和40年ごろから宅地化が進み、現在に至っている。これに関連して問う。

(1) 平成27年度の雨水排水路延伸工事予定区間は、

(2) 南浦排水路から槻木旧4号線沿いで分水予定の、新たな排水系統の整備の調査研究を、どう進めるのか。

**町長** 四日市場交差点まで調査が行われ、排水路の埋設位置を検討した

(1) 稲荷山用水路から南浦排水路までの区間のうち、平成26年度は、稲荷山用水路から県道交差点までを整備する。27年度は、県道交差点から槻木郵便局北側までを計画し、残りは南浦排水路までの64区となる。

(2) 槻木下町2丁目付近で南浦排水路を分水して、四日市場交差点までの約600区の間について、新たな排水系統として整備を検討する。国交省で調査が行われ、排水路の埋設位置を検討した。その先の四日市場排水機場までは、国の整備が予定されている。



総括質疑



平間奈緒美 議員

- 問** 若い世代の意見を取り入れ、町の魅力を全国発信しているのか
- しばた千桜橋は、しばたの桜をメジャーにする一つの武器である。このチャンスを生かして全国に発信していかなければならない。
- (1)** 町では四季折々のイベントを行い、来訪者も増えている。さらなる地名度アップに向けて施策はあるのか。
- (2)** ぜいたく味噌やユズを使った商品展開にも期待するが、今後の展開は。
- (3)** 広域観光の点からも大河原町と合同でイベントを行ってはどうか。
- (4)** 若い世代の意見を取り入れ、町の魅力を全国発信してはどうか。
- 町長** 若い世代の意見を取り入れ、観光事業を展開している
- (1)** 四季折々の花木の植栽、船岡平和観音像や園路の改修、さらに柴田外記や原田甲斐供養塔周辺の整備などを行う。
- (2)** 郷土色豊かな絶品料理の創作や地域資源を活用したお土産品の開発を支援する。
- (3)** 仙南2市7町と連携した合同イベントの開催は、観光客のニーズへの対応や経済の相乗効果が図られる。今後は観光PRの一つとしての物産展の開催、周遊ルートの構築など広域的な観光を推進していく。
- (4)** 今後も若い世代の意見を取り入れ、町の魅力を発信しながら、観光事業を展開していく。

総括質疑



桜場政行 議員

- 問** 5月に販売予定の3割増商品券。住民への徹底した周知を
- 町長** ポスターやチラシ、ホームページ、広報紙を活用し周知を図る
- (1)** 空き家、空き地の対策で、空き家等対策条例の整備を行うが、条例制定後、柴田町独自の空き家政策に取り組んでは。
- (2)** 平成27年度にスタートする3カ所の小規模保育により、何人の待機児童が解消されるのか。また、待機児童保護者への周知方法は。
- (3)** 5月に販売予定の3割増プレミアム商品券。割増分は全額、国の補助金である。多くの町民に購入してもらうために、徹底した周知が必要である。町ではどのような周知方法を考えているのか。
- (1)** 空き家等対策条例は、関係課や関係団体と空き家等活用促進も視野に入れて制定していく。独自の空き家対策は、不動産業者、地域、行政の3者で仕組みづくりを検討する。
- (2)** 3カ所の小規模保育は、利用人数37人でスタートする予定である。解消される人数は、今後検証する。また、入所できなかった家庭には、入園可能な私立幼稚園などの一覧を作成して周知した。
- (3)** 多くの町民に購入してもらうように、ポスターやホームページ、広報紙を活用し周知を図る。

総括質疑



有賀光子 議員

- 問** 中小企業向けに、元気の出る施策を
- 町長** 町は融資限度額を引き上げ、国の制度はホームページなど周知する
- (1)** 交通安全と防犯対策のため、計画的に監視カメラの設置数を増やしては。
- (2)** 健康づくりポイント事業は、3千人以上の申し込みがあった。さらに進化させるため、健康知識普及の講演会や各種会合の参加にもポイントを与えては。
- (3)** 中小企業に対して、町及び国の元気の出る施策を浸透すべきでは。
- (4)** 人口減少や高齢化が著しい柴田小学校区に、※地域おこし協力隊の誘致がうたわれている。どのように活用するのか。
- (1)** 26年12月、槻木駅西駐車場内に防犯カメラ2基を設置した。防犯や施設管理のため、里山ガーデンハウスにも監視カメラを設置する計画である。
- (2)** 60代以上の方が8割を占めていることから、生活習慣病予防や運動不足解消のため、40代・50代の方も参加するように、力を入れていく。
- (3)** 町は、4月1日から融資限度額を引き上げる。国の補助金の活用は、ホームページなどで周知していく。
- (4)** よそから人材1人を誘致し、その定住・定着を図りながら、地域力の維持、強化を図っていく。

※地域おこし協力隊 地域社会維持に、新たな担い手となる地域外の人。



予算審査特別委員会

みんなの税金 どう使うの??



3月13日に予算審査特別委員会を設置し、27年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計について審議し、3月18日に終了しました。質疑内容の一部を紹介します。

財政課

国の補助金などを生かして27年度予算を編成

**質疑** 27年度予算には大規模事業が入っているが、各課の要求に対して応えているのか。

**答弁** 12月末で、歳入に對して歳出が、16億2千万円多くなった。本来、事業ごとに削らなくてはならないが、国から来ている補助金、交付金などを極力生かして予算を編成した。

で、なるべく町民の要望に応えたいということから、基金を取り崩して3億1千950万円を充てた。

全事業に対してできるだけだけ満遍なくという考え

**質疑** 国の事業が最優先になり、町がやらなくてはならない事業の優先順位が低くならないのか。

**答弁** 国の補助事業を取り入れながら、住民の要望度の高いもの、危険性を考慮した緊急度の高いものの順から取り組んでいく。



スロープが設置される「しばた千桜橋」

商工観光課

船岡平和観音像を修繕



町のシンボル船岡平和観音像

**質疑** 船岡平和観音像は、町のパンフレットやポスター、お菓子の包装紙などさまざまなものに使われており、柴田町にとってシンボリックな存在となっている。今回の修繕について、町の考え方は。

下や鉄筋の腐食について調査しないのか。

**答弁** 船岡平和観音像は、かなり劣化が進んでおり、表面剥離などもあることから、安全上好ましくありません。また、町の施設ということもあり、今回修繕費を計上した。

これも、これまで、震災前も後も、目視による安全度の確認をしている。構造体には問題はない。

**質疑** 建てられてかなりの年数が経つため、地盤沈

**答弁** 政教分離の問題について、町の顧問弁護士に確認した。町のシンボルということと、さらに、観音信仰という特定の信仰もないので、政教分離には当たらないということである。



総務課

消防団員の活動服を新調

**質疑** 現在の消防団員の現状は。

**答弁** 消防団の総数は26年度当初で311人、12月末で308人となっている。

**質疑** 定員割れとなっている消防団員を、増員するための施策は。

**答弁** 区長や町内会の会合で説明したり、仙台大学でPR活動をしている。さらに、女性隊員も募集している。

**質疑** 火クラブから婦人消防隊が出てほしいと望んでいる。

**質疑** 消防団員活動服は、消防署員が着用しているオレンジで目立つ活動服にする。また、現在の半長靴を編み上げ靴に装備変更するため、今回予算を計上した。

**答弁** このことをPRして団員の入団促進を図りたい。

このことをPRして団員の入団促進を図りたい。

まちづくり政策課

ふるさと納税件数の目標を100件に

**質疑** ふるさと納税の増額理由は。

**答弁** ふるさと納税は、民間へ委託をし、民間の力を借りて、柴田町への応援を増やしていくという取り組みを行う。26年度の実績では19件であったが、27年度は目標100件とし、事業を進める。

**質疑** 26年度の使い道の指定は。

**答弁** 26年度のふるさと納税は、桜に関する支援が6割で、そのほか教育などへの支援があった。

町民環境課

浄化槽設置に対する補助は

**質疑** 浄化槽設置整備事業682万円の内訳は。

**答弁** 公共下水道認可区域外の個人住宅への浄化槽設備に対する補助である。27年度は5人槽として15基、7人槽として10基を予定している。

**質疑** 浄化槽設置整備事業の補助終了予定は。

**答弁** 23年から始まり、27年度までとなっている。

**質疑** 住民への周知は。

**答弁** お知らせ版などへ掲載して周知する。

子ども家庭課

今後の放課後児童クラブは

**質疑** 27年度の放課後児童健全育成事業で、放課後児童クラブの入所状況は。

**答弁** 4月1日の入所予定は、船岡児童クラブ80人、西住13人、船迫59人、東船岡34人、槻木69人、合計で255人となる。

**質疑** 児童クラブの考え方について、27年度はどう捉えるのか。

**答弁** 今後、教育委員会や学校と、部屋の利用について協議を進めていきたい。

**答弁** 柴田町子ども・子育て支援事業計画では、6年生まで受け入れるという方針を示している。教室の問題があるが、何とか受け入れ体制をつくりたい。



訓練に励む消防団員



みんな仲良く元気に遊ぶ槻木放課後児童クラブ



福祉課

緊急通報システムの設置は

**質疑** 緊急通報システムの台数及び稼働件数は。

**答弁** 現在48台ある。通報件数は26年度で2件あった。

**質疑** 申し込みがあれば設置する。設置申し込みの増減は。

**答弁** 申し込みは増加傾向にある。現在設置待ちは3台あるが、3月中旬に設置が完了する。

**質疑** 設置について、地域間格差はないのか。

**答弁** 地域差はなく、申

健康推進課

救急用人工蘇生器を設置

**質疑** 救急用人工蘇生器は、どこに設置するのか。

**答弁** 救急用人工蘇生器は、新型インフルエンザなど、集団予防接種に備える。＊アナフィラキシーショックなどに対応

する蘇生器で、1台の購入を予定する。設置場所は保健センターとなる。＊アナフィラキシーショック ヒトや他の哺乳類で認められる急性の全身性かつ重度なI型過敏症のアレルギー反応の一つ

農政課

農産物6次化産業支援「くるみみそ」

**質疑** 農産物6次産業化支援事業として、5万円の予算計上をしているが、どのような形で支援をしていくのか。

**答弁** 下名生の柴田特産品加工組合で「くるみみそ」を研究している

この5万円については、その取りかかりとしての予算となる。

教育総務課

水泳の授業を仙南総合プールで

**質疑** 中学校管理費に宮城県仙南総合プール使用料45万4千円が計上されているが、昨年より倍増しているが、要因は。

**答弁** 船岡中学校だけで

なく、全中学校が27年度から仙南総合プールで水泳の授業を行うからである。

**質疑** 交通手段は。

**答弁** バスで移動する。

生涯学習課

文化財の標柱を設置

**質疑** 文化財保護事業として52万9千円を計上しているが、「文化の薫る町」としては少ない予算と思う。その内容は。

**答弁** 文化財保護活動事業費として文化財標柱を作製し、3カ所に設置するため、10万円を見込んでいる。このことが、主な内容である。

都市建設課

歴史観光サポーターを育成

**質疑** 27年度の歴史観光サポーター育成支援事業の内容は。

**答弁** 歴史観光サポーター育成支援事業は、社会資本整備総合交付金事業の市街地整備として、5年目の今年度が最終年度となる。

毎年課題を変え、4年続けてきた。現在は、船岡駅の改札口付近で、原田甲斐の話や、展示について案内をしている。歴史観光サポーターからの案を生かし、最終年度も進めていく。

この5万円については、その取りかかりとしての予算となる。



麴の仕込み中



おもてなしで観光案内（JR 船岡駅）

これまでの活動として、

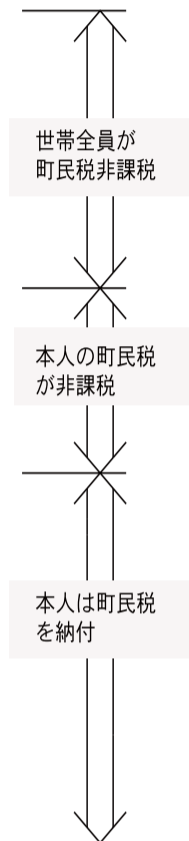


3 月 会 議

# 介護保険料改正へ

3年に一度の見直し(平成27年度～29年度)

段階	条件	掛け率	保険料
第1段階	生活保護世帯 世帯全員が町民税非課税で老齢福祉年金受給者 世帯全員が町民税非課税で年金収入が80万円以下	0.5	29,400
第2段階	世帯全員が町民税非課税で かつ 年金収入等が120万円以下	0.75	44,100
第3段階	世帯全員が町民税非課税で かつ 年金収入等が120万円超	0.75	44,100
第4段階	本人が町民税非課税(世帯に課税者) かつ 本人の年金収入等が80万円以下	0.9	52,920
第5段階	本人が町民税非課税(世帯に課税者) かつ 本人の年金収入等が80万円超	1.0 (基準額)	58,800
第6段階	町民税課税かつ合計所得が120万円未満	1.2	70,560
第7段階	町民税課税かつ合計所得が120万円以上 190万円未満	1.3	76,440
第8段階	町民税課税かつ合計所得が190万円以上 290万円未満	1.5	88,200
第9段階	町民税課税かつ合計所得が290万円以上	1.7	99,960



柴田町が運営している介護保険事業の保険料の計算方法が変わります。保険料は、図の掛け率に基準額(5万8千800円)を掛けた金額です。6段階に2段階の特例を設けて運用していましたが、所得に応じて9段階になり、よりきめ細かな負担割合になります。今回の改正で、平成27年度から3年間運用されます。

## 介護保険料が変更になります

3月会議では、介護保険条例の改正など8件の条例改正、新型インフルエンザ等対策本部条例など5件の新規条例について審議し、原案のとおり可決しました。

## 論 討 改正 介護保険条例の

### 反対討論

広沢 真議員

今回の介護保険料の値上げの主な要因は、介護利用者の増と国の負担分が増えないことにある。年金が目減りし、物価も高騰する中で、高齢者の生活に及ぼす影響は大きい。保険料を値上げすべきではない。

### 賛成討論

桜場政行議員

町では、保険料の軽減を図るため、介護給付準備基金の4千200万円の取り崩しを行い、被保険者の負担調整を図っている。基準額で1カ月500円の値上げとなるが、高齢者と家族を支援するためには、やむを得ない。

## 新型インフルエンザ等対策本部条例を制定

平成21年に発生した新型インフルエンザの経験を踏まえ、25年4月、新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行されました。これに基づき、条例を制定しました。

## 母子・父子家庭医療費の助成に関する条例を改正

今回、保護命令を受けた母子家庭の母子と父子家庭の父子を新たに助成対象者に加え、あわせて配偶者のない男子の定義が追加されました。

**質疑** 町の母子家庭・父子家庭の世帯数は。

**答弁** 母子家庭・父子家庭あわせて342世帯860人で、うち、父子家庭は19世帯29人である。

**質疑** 町に男性が女性から暴力を受けていると相談はあるのか。

**答弁** そのような相談はない。しかし、女性からの相談は増えている。

## 船岡体育館と槻木体育館の使用法が変わります

柴田町総合型地域スポーツクラブ設立に向け、体育館の使用法が変わります。平成27年7月1日から、半面の使用も可能となります。使用料については、全面使用の場合に変更ありませんが、半面使用の場合は、全面使用料の半額になります。

## 町職員の給与を引き下げ

人事院勧告による給与制度の総合的見直しで、給与表の水準を引き下げることになります。

### 反対討論

広沢 真議員

現在、消費税の値上げと物価の高騰で労働者の実質賃金の低下が続いている。人事院勧告がこの時期に給与の引き下げを求めていることが理解できない。地域経済への影響も考え、消費を抑える引き下げに反対する。



3月会議

(仮称)仙南クリーンセンター負担金や  
プレミアム商品券の発行も

一般会計総額  
124億6,055万円に

柴田町の地方創生《緊急経済対策》

地域における消費喚起・生活支援 総額 6,013 万円

○プレミアム商品券【3割増】 販売価格 1セット 10,000円 (13,000円分)	4,967万円
○乳児おむつ購入券補助 おむつ券 1人につき 5,000円	571万円
○介護家族リフレッシュ事業 介護家族の負担軽減 1世帯につき 5,000円	292万円
○東日本大震災避難生活者支援 柴田町に避難している被災者 1人につき 5,000円	183万円

国の支援で、3割増プレミアム商品券を発行

また、3月17日に一般会計補正予算が追加提案されました。内容は、国の地方創生関連の緊急経済対策に伴い、3割増プレミアム商品券などを発行するものです。3月19日の審議の結果、全会一致で可決しました。

また、3月17日に一般会計補正予算が追加提案されました。内容は、国の地方創生関連の緊急経済対策に伴い、3割増プレミアム商品券などを発行するものです。3月19日の審議の結果、全会一致で可決しました。

平成26年度3月一般会計補正予算は、交付金や補助金などの額の確定による補正です。震災復興特別交付税は、全額(仮称)仙南クリーンセンター負担金として計上しました。3月12日の審議の結果、賛成多数で可決しました。

平成26年度補正予算(3月会議)

会計区分	補正額	補正後
一般会計	7,915万円	124億6,055万円
特別会計	国民健康保険事業	△753万円 43億9,564万円
	公共下水道事業	△1億5,368万円 24億4,518万円
	介護保険	△4,057万円 24億9,279万円
	後期高齢者医療	434万円 3億5,525万円
水道事業会計	△84万円	12億8,015万円

人事案件

○副町長の選任に同意



水戸 敏見氏(新任)

(西船迫3丁目)

○固定資産評価審査委員の選任に同意

井上 武夫氏(再任)

(槻木駅西2丁目)

○人権擁護委員の推薦

木島 基子氏(再任)

(西船迫2丁目)

2月会議  
2月12日開催

(仮称)さくら連絡橋建設工事

(斜路工・債務負担行為)

2月会議は、(仮称)さくら連絡橋建設工事(斜路工・債務負担行為)請負契約1件について審議し、賛成多数で可決しました。内容は、1億5千228万円の随意契約でした。

さくらへの影響は

質疑 桜並木への影響は。また、随意契約だが、柴田町への経済効果は。

答弁 橋台を作るが、桜を切ることはない。経済効果の算定は難しいが、仮設道路などは地元業者で施工する。

橋の管理費は

質疑 定期点検は、5年に1回ということだが、費用は。

答弁 外注するようになるので、どのくらいになるのか、今の段階では算定できない。

※債務負担行為 予算の先取りをすること。将来の支出が確実な継続工事などで行われる。

4月会議  
4月1日開催

27年度一般会計補正予算

平成27年度4月会議を開き、今年度の通年議会が始まりました。27年度一般会計補正予算について審議し、全会一致で可決しました。これにより、消費費税引き上げに伴う低所得者や子育て世代に対する負担を緩和するため、26年度に引き続き、臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金が支給されます。

今回の補正で7千94万円を増額し、27年度予算は135億7千459万円になります。



# 本会議の出欠状況・議案などの審議結果

## ●本会議の出欠状況

区分	主な内容	月日	出席者数 △	出欠状況																
				平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国	星吉郎
(平成26年度) 2月会議	本会議	請負契約	2.12	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成26年度) 3月会議	本会議	町政報告、施政方針、一般質問	3.9	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	3.10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問、条例審議	3.11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例審議、補正予算等	3.12	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		新年度予算上程・総括質疑	3.13	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算審査特別委員会	正副委員長の互選等	3.13	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		平成27年度予算審議	3.16	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		平成27年度予算審議	3.17	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
本会議	平成27年度予算審議	3.18	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
本会議	平成27年度予算採決、追加議案審議等	3.19	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(平成27年度) 4月会議	本会議	補正予算	4.1	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表します。  
 ※議長は、予算審査特別委員にはなりません。

## ●議案などの審議結果

### ○賛成と反対（賛成しない）に分かれたもの

区分	件名	賛成 △	反対 △	議決結果	表決状況															
					平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国
(平成26年度) 2月会議	平成26年度（仮称）さくら連絡橋建設工事（斜路工）（債務負担行為）請負契約	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成26年度) 3月会議	柴田町職員の給与に関する条例の改正	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の改正	16	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町介護保険条例の改正	14	3	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度柴田町一般会計予算	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度（仮称）さくら連絡橋新設工事（債務負担行為）委託変更契約	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度（仮称）さくら連絡橋建設工事（桁架設）（繰越明許）請負変更契約	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。  
 ※「議」は表決時に議長のため、表決に参加していないことを表します。

### ○全員が賛成したもの

区分	件名	区分	件名
(平成26年度) 3月会議	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	(平成26年度) 3月会議	平成26年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
	固定資産評価審査委員の選任		平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算
	柴田町新型インフルエンザ等対策本部条例		平成26年度柴田町介護保険特別会計補正予算
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例		平成26年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算
	柴田町教育委員会の教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例		平成26年度柴田町水道事業会計補正予算
	柴田町行政手続条例の改正		平成27年度柴田町国民健康保険事業特別会計予算
	柴田町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例		平成27年度柴田町公共下水道事業特別会計予算
	柴田町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例		平成27年度柴田町介護保険特別会計予算
	柴田町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の改正		平成27年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算
	柴田町農業委員会の選任による委員の団体推薦に関する条例の改正		平成27年度柴田町土地取得特別会計予算
	柴田町体育施設条例の改正		平成27年度柴田町水道事業会計予算
	平成26年度柴田町一般会計補正予算		副町長の選任
		平成26年度柴田町一般会計補正予算	
	柴田町議会委員会条例の改正		
	(平成27年度) 4月会議	平成27年度柴田町一般会計補正予算	





# 一般質問

ズバリ



あなたにかわって

## ここが聞きたい

Q & A



一般質問は3月9日から11日までの3日間で行われ、15人の議員が質問しました。  
質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。  
答弁者は、滝口町長、船迫教育長及び各担当課長等です。

**問** 未整備の土側溝や修繕が必要な側溝などの調査結果を問う。

**町長** 平成25年度は、側溝整備31路線、舗装整備39路線、道路改良1路線の計71路線で、整備費用は約5億9千万円。26年度は、側溝整備8路線、舗装整備14路線、道路改良1路線の計23路線で、整備費用は約3億7千万円の見込みである。

**問** 生活道路の整備は、各行政区の地域計画や町民の要望、町長へのメッセージなどに対応している状況で、抜本的な現況調査には至っていない。

**町長** 今後の整備計画は、整備方針としては、通学路など、側溝整備によって道路幅員が広がり、安全に通行しやすくなる路線や、壊れて危険な箇所、機能が損なわれている箇所、流れが悪く滞留している箇所を優先に整備を進めていく。

**問** 町道船岡東44号線、45号線についての考え方は。

**町長** 他の類似自治体同様に健全化の数値を近づけようとするれば、道路側溝、冠水対策などは遅れることになる。それでもいいかどうか、大いに議論する必要がある。

**都市建設課長** 船岡中学校に向かう土水路は町の単独事業として行うよう考えている。詳細を詰めていくことになるが、時間はかかるが調査はできるだけ早く行いたい。

**Q** 町道船岡東44号線、45号線についての考え方は



平間奈緒美 議員

**A** 時間はかかるが、調査を早くしていきたい



修繕が待たれる土水路（町道船岡東44号線）





舟山 彰 議員

**Q** 迷惑行為へのマナーアップ条例制定について

**A** 条例制定に向けて住民の機運を盛り上げてほしい



マナーを守ってきれいなまちづくり

私が町内で見たり、住民からの苦情でわかることは、町内では、自転車の放置（アパートの自転車置き場やその他の場所など）、たばこのポイ捨て（灰皿がわりの空き缶捨て）、大学周辺の空き地や町営住宅出入り口での喫煙、犬のふんの放置、草の生い茂った空き地へのゴミ捨て、駐車場への無断駐車や路上への違法駐車など、住民が迷惑を受けていることが多い。そこで伺う。

**問** 県内では、JRの駅に「高校生のマナーアップ運動」のポスターが張ってある。県内で前述のような迷惑行為に対するマナーアップ条例を制定している自治体はあるのか。

**町長** 町は「柴田町環境美化に関する条例」を制定している。県内では、マナーアップ条例を制定している自治体はない。

**問** 住民は誰でもきれいで安全・安心な町に住みたいと思っっている。前述のような迷惑行為

の中には、火事の危険を伴うものもある。住民が迷惑を受けていて解決に困っていることに対応するため、罰則規定はなくても「マナーアップ条例」を制定する時期に来ているのではないか。

**町長** 条例の制定は有効な手段の一つだと思っ。ぜひ制定に向けて住民の機運を盛り上げていただきたい。

**問** 「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材の確保について、町の考えは。

**まちづくり政策課長** 国の地方創生コンシェルジュ制度は、宮城県にかかわりを持つ国家公務員が各省庁の窓口になり支援するものである。町はこの制度を利用し、国から指名される職員に事業を相談する。

**問** ICT（情報通信技術）を活用した地方創生はできないか。

**商工観光課長** ※WiFiについては、観光はもちろん、防犯の面でも使えるので、今後、地方版の総合戦略を立てていく際、機材の貸し出しも含めて、仕事に結びつけていけるよう話し合いを進めていきたい。

**問** 近隣都市からの移住推進について、町の考えは。

**町長** 本町の特徴は、温暖で自然環境に恵まれており、仙台市へ30分、高速道路や空港にも30分

しかも地価が安いこと。このようなことを生活面も含め地方移住に関する情報の提供を図っていく。

**問** 小さな企業への支援について、町の考えは。

**町長** ものづくりの新事業を創出するため、新たな仕事や新製品を開発する異業種ビジネス事業を、小さな企業支援として計画する。

※WiFi さまざまな場所から高速でインターネットにアクセスする手段。

**Q** 柴田町の地方創生の取り組みは

**A** 地方創生コンシェルジュ制度を利用して進める



吉田和夫 議員



通勤通学で利用される槻木駅



# 一般質問



齋藤義勝 議員

## Q 地方活性化をどう進めるか

**A** 施策ごとに目標を設定して、検証しながら進める



再活用された槻駅前のお店

**問** これからの地方活性化のための事業計画案は。

**まちづくり政策課長** 次の6項目を計画している。

- ① 異業種ビジネスチャンス支援事業
  - ② 6次化支援強化事業
  - ③ 若年者等職場定着化支援事業
  - ④ 観光振興事業
  - ⑤ 地域資源を活用した小さな拠点整備
  - ⑥ 空き店舗を利用した福祉拠点の整備
- 以上を施策ごとに評価指

数を設定して検証する。

**問** 地域活性化に向けて、広域からの人材誘致の考えは。

**まちづくり政策課長** 国からの補助金制度を活用して、今回は

柴田小学校区に人材を誘致する。3年計画の中で、最初は地域の特性を覚えていただき、次の段階で活動に移り、全体的な視野として槻木地区を全て包括していきたい。

**問** 昨年、槻木まちづくり研究会が発足したが、今後の予定は。

**まちづくり政策課長** 国からの補助金制度を活用して、今回は柴田小学校区に人材を誘致する。3年計画の中で、最初は地域の特性を覚えていただき、次の段階で活動に移り、全体的な視野として槻木地区を全て包括していきたい。

**まちづくり政策課長** 今回の研究会のメンバーを中心に実行委員会を立ち上げ、初年度は槻木駅を拠点としたイベントを企画したい。

**問** 会場特産品の販路開拓推進の一環として、ふるさと納税制度を活用する考えは。

**まちづくり政策課長** 最近、メディア効果により、ふるさと納税応援者が増えてきている。今後は、民間の力も借りて、これに該当する推進製品の新たな開発に取り組んでいきたい。

**問** 今後の研究会の予定は。

**まちづくり政策課長** 今回の研究会のメンバーを中心に実行委員会を立ち上げ、初年度は槻木駅を拠点としたイベントを企画したい。

**問** グローバル化の現代社会において、期待される小中学生像とは。

**教育長** 世界の人々と外国語中でも英語で交流する力、自分の思いを英語で伝える力がますます求められると感じている。

**問** 英語教育手法の現状は。

**教育長** 平成23年度から、小学5・6年生の英語学習で、音声を中心に慣れ親しませている。コミュニケーション能力を養うことを目標に、学級担任が中心となり、A L

T（外国語指導助手）の協力を得て実施している。

**問** 今後の課題は何か。

**教育長** 英語の時間が増えることに伴い、英語学習をどう積み上げていくかを工夫することである。

**問** 外国語習得を、どう考えているのか。

**教育長** 学習したい思いは、外国人に伝えたい、外国人が伝えたいことを理解したいと思ったときに膨らむ。柴田町は、伝える思いを持つ視点を大切にし、「中学3年生に

なったとき、花のまち柴田が誇る桜について英語で説明することができ「具体的な目標を、小中学校連携して進めたい。

**問** 協働によるまちづくりの観点から、イベントなどのガイドや通訳ボランティアとして、中学生の参加を奨励しては。

**教育長** 学習成果を発揮することを、自己有用感を高める場として有効である。英語での情報発信活動を通し、子どもたちがまちづくりにどう貢献できるかを検討する。

## Q 小中学校の英語教育とまちづくりへの参画について



佐々木裕子 議員

**A** 外国語習得により、まちづくりにどう貢献できるかを検討する



英語に慣れ親しむ子どもたち（船迫小学校）





水戸義裕 議員

**Q** 中長期の財政見通しは

**A** 身の丈に合った財政運営を心掛ける



さくら基金を活用してさくらの育成を

**問** 財政調整基金始め13種類の基金があるが、積立額などの運用は、

**町長** 特定目的の積み立ては、給食センター建設基金、スポーツ振興基金、さくら基金など11種類である。基金は、財政調整基金を含め13種類で、合計15億5千800万円になる。運用は、元金保証の定期預金や国債などで適正に管理している。

**町長** 中長期の財政見通しは、町民税・固定資産税等の町税や地方消費

税交付金などの収入、支出額が明確な公債費などの予測は可能である。しかし、それ以外の歳入歳出は、人口減少問題に対する国の取り組み、税法の改正、国の地方財政計画などの外的要因に影響される。そのため、町単独で1年先の財政を見通すことは難しい。まして中長期の財政見通しを立てることは、極めて困難な財政構造にある。今後、人口減少・高齢化の進行

でかなり厳しくなることから、身の丈に合った財

政運営を心掛ける。地方交付税を注視しながら財政運営を図る。

**問** 財政調整基金以外の基金を特定目的基金として積み立てているが、その使用のタイミングは、

地方財政法によって運営する。特定目的基金は各自治体に運営が任せられ、目的により使途、時期と合わせて、積み下ろしができる。

**Q** フットパスによる元気なまちづくりの推進は



佐々木守 議員

**A** 田園風景、歴史文化などの地域資源を活用し、魅力あるまちを整備



今日もにぎわう農村レストラン「縄文の幸」

**問** フットパスによる元気なまちづくりの推進を掲げているが。

**町長** 先人たちが残してくれた自然景観や田園風景、歴史や文化などの地域資源等を活用した魅力的な点と点を有機的な線、つまりフットパスでつなぎ、さらに面的に広げて、将来の回遊性を高め、町なかを歩いて楽しいコースを整備していく。フットパスによる町歩き景観形成の推進の具体的な内容は、

**町長** 船岡駅から白石川堤を經由し、しばた千桜橋を渡り、船岡城址公園から船岡市街地を回遊するリバーウォークコース、槻木駅から四日市場を経て上川名に向かい、槻木の自然景観や歴史・史跡等を小径で結ぶ、里歩きのコースを整備する。

**問** 整備の内容は。

**町長** 道沿いに花木を植栽し、道標や説明看板、ベンチ、休憩所やモニュメントなどを設置し、歩いて楽しい道づくりを整

備していく。

**問** 地域ビジネス育成・地域経済の活性化は、

**町長** 多彩な観光イベントによる交流人口の増加や、農工商連携による特産品の開発、販路拡大に伴う地域のビジネスチャンスや雇用の創出を期待している。

**問** フットパスの構想に、

地方創生先行型の計画を取り入れていくのか。  
まちづくり政策課長 後期基本計画の観光戦略に、既に先行型を取り入れている。



# 一般質問



安部俊三 議員

**Q** 地域の将来を見つめ、学校統廃合の議論をすべきでは

**A** 当面は、現状を維持し、児童数などの推移を見て検討する



元気よく返事ができました（柴田小学校入学式）

**問** 文部科学省は、59年ぶり見直した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を公表した。

**教育長** 学校の統廃合の適否、あるいは小規模校を存続する場合の充実策などを検討するガイドラインと捉えている。

子どもたちの教育条件の改善の観点を中心に据え、保護者や地域と共通理解を図りながら検討を進める際に活用する。

**問** 現在、統廃合に関する基準の6学級に該当するのは、柴田小学校と西住小学校である。議論を深め、検討する考えはあるのか。

**教育長** 両校の児童数は、減少していく傾向にある。子どもたちにとって、よりよい教育環境整備を図るための具体的方策や、地域の活性化などを検討していかなければならない。

**問** 町長と教育委員会で構成する総合教育会議が、4月に設置される。

統廃合について重要なテーマとして取り上げる考えを持っているのか。

**教育長** 当面は、現状を維持し、小規模校のメリットを生かし、活力ある学校づくりを目指す。柴田小学校が複式学級となる可能性のある平成30年度以降に向けて、児童数などの推移を見ながら、総合教育会議においても検討しなければならぬと考えている。



秋本好則 議員

**Q** 町営住宅の家賃補助やグループリビング導入の考えは

**A** 公営住宅は低廉な家賃で提供するもので、今後議論をしていく



仙台市泉区にあるグループリビング

**町長** 北船岡町営住宅2号棟の住宅使用料は、平成25年度分は、12カ月分で75万6千円に對して、75万1千400円納入された。

**問** 家賃は建設費だけで計算してみると、耐用年数50年で年間1千900万円位ないと赤字になる。国から

町営住宅には高齢化の波が押し寄せている。住宅の余剰が顕在化している中、滞納額の増加などもあり、政策の転換期にあると思える。そこで質問し、私の提案に代える。

**町建設課長** 耐用年数を70年とするのと、建設費は賄える。

**問** 民間住宅を借りられない人に町営住宅を提供していく考えはないか。

**町建設課長** 町営住宅は公募なので、情報提供している。

**問** 家賃補助に切り替え、住宅困窮者に支援する考えは。また、グループリビングや※2コレクティブハウスという考えは。

**町建設課長** 公営住宅は低廉な家賃で提供するものなので、今後議論をしっかりとしていく。

**問** これらの住宅は、省令耐火構造にすれば地域優良賃貸住宅制度が使える。これを使って空き家を改造して高齢者の方々に入っていただく考えは。

**町建設課長** これは、時間をかけて十分議論する必要があると考える。

※1 自立できる高齢者が食堂などを共有して生活する住居。  
※2 グループリビングで多世代の人が共同生活する住居。





有賀光子 議員

**Q** 認知症初期集中支援チームの設置は

**A** 27年度から認知症総合支援事業に取り組んでいく



認知症サポーター養成講座（柴田町地域福祉センター）

**問** 介護認定のうち、認知症の方の占める割合は。

**福祉課長** 介護認定を受けた方は、昨年度末で、1千428人。そのうち認知症の方は940人で、約65%となっている。

**問** 認知症サポーターの人数は。また、サポーターが患者と家族を手助けする仕組みを、どう展開しているのか。

**町長** 26年12月末現在、延べ1千532人が受講し、認知症サポーターとなっ

た。今後は、サポーターのフォローアップ研修を実施し、終了後は地域の身近な見守り役として活動していただく。

**問** 初期集中支援チームの設置の考え方と取り組みは。

**町長** 初期の段階で認知症と疑われる人やその家族を訪問し、アセスメントや家族支援を行い、自立した生活のサポートを行う。仙南地域の認知症サポート医、看護師、介護支援専門員3人以上

で構成される。取り組みとして、認知症サポート医を中心に、訪問や聞き取り調査の結果、どのように医療につなげるか、総合的に検討していく。

現在、仙南地域の認知症サポート医は2人である。増員も見据えながら、30年度からの認知症初期集中支援チームの活動ができるよう、27年度から認知症総合支援事業に取り組んでいく。

**問** いまや全国の全ての自治体が何らかの形でやっている医療費助成制度で、その中でも本町の制度は通院も入院も義務教育終了までと高い水準にあると考えている。

**町長** 県からの補助金は、基準が2歳までと低く町の持ち出しが多いのが現状で、多くの事業を

行う財源を確保するため、所得制限を設けて制度を実施している。

**健康推進課長** 県内で所得制限を設けていない自治体は、35市町村のうち11市町村である。

**問** 全国1千742市町村のうち、1千350を超える自治体が、所得制限なしで制度を実施している。本町でできない理由は。

**健康推進課長** 所得制限をなくすと、約2千800万円の財政措置が必要となる。それが一番の理由である。

**問** 県内での所得制限実施が多いのは、県の助成対象が低いことが大きな要因だと思うが、本町もそうか。

**健康推進課長** それも一因である。

**町長** 実施したいのは山々だが、町の費用負担を考えると、県の支援がなければできない。

**問** 県に要望はしているか。

**町長** 県知事と会うたびに要望している。これからも訴えていきたい。

**Q** 子ども医療費助成制度の所得制限撤廃は



広沢 真 議員

**A** 費用負担を考慮し、県の動向を見て検討する



1階に移った子ども家庭課



# 一般質問



星 吉郎 議員

**Q** 町の行事が多いが、交通誘導などの人員確保は

**A** 民間の警備会社にも委託し、人材確保を図っている



朝早くから出動している交通指導隊

**問** 船岡城址公園の整備に伴ってしばた千桜橋が造られた。しばた桜まつりが始まり、多くの花見客が来町する。また、第9回柴田さくらマラソンも実施され、交通誘導の困難が予想される。安心で安全な環境づくりに、交通指導隊員の活躍も必要であるが、人員の確保はできているのか。

**町長** 交通指導隊員が出動した主なものは、桜まつり期間中は土日のみで、ほかに年6回のイベ

**町長** 1人の入隊志願者があり、入隊に向けて話し合いを進めている。

**問** 交通指導隊員の待遇は。

**町長** 交通指導隊員だけで賄うことは困難であることから、民間の警備会社にも委託し、人材確保を図っている状況である。

**問** 2月15日のお知らせ版に、人員募集の記事が掲載されていたが、その後の状況は。

**町長** 交通指導隊条例第9条の規定で、報酬が支給されている。

**問** 防犯実動隊員の人員は足りているのか。

**町長** 現在の隊員数は、18人である。主な活動は、イベント時の巡回、駅や金融機関、ショッピングセンターなどでの防犯キャンペーン、夕暮れや夜間のパトロールである。



白内恵美子 議員

**Q** 住民の声に応え、図書館建設の早期実現を

**A** 貯金を確保しないと建設できない



年間約12万冊の利用がある柴田町図書館

**問** 第5次柴田町総合計画後期基本計画素案に対する住民の意見は、

**町長** 意見提出者は52人で、その中でも特に新図書館建設に関する意見を42人からいただいた。これまで基本計画策定に関するまちづくり懇談会や総合計画審議会において、図書館建設の要望が全く出て来なかっただけに、多くの方々の声が寄せられ、ほっとしている。

**問** どのような内容だったのか。

**町長** 「図書館の完成を希望」「我が町にも本格的な図書館を」という意見があった。

**問** 図書館は人が集まり情報を発信し、創造的なまちを創る拠点である。それを住民の皆さんが望んでいる。首長の姿勢、本当にまちづくりに力を入れるのかどうかにかかっているのでは。

**町長** 図書館の必要性や、図書館があれば町が次のステップに行けるのは十分理解している。財政は改善してきたが、まだ貯金が足りない。早目に頭金を貯め、建設に向けたレールを走っていく

**問** 頭金の額は。

**町長** 15億円の図書館であれば5億円。図書館には補助金が付かない。

**問** 農水省の木造建築に対する補助金を使う案は検討したのか。

**町長** 一応エントリーはしているが、建物だけ2分の1の補助であり、あとは町の単独事業となる。補助枠の詳細は分からない。



# 一般質問



平間幸弘 議員

## Q 町図書館の本の有効な活用を

## A 4月より図書館図書インターネット予約が可能に



槻木生涯学習センターの図書室

柴田町図書館の図書や、各公民館図書室の図書が、もっと町民に有効利用されるべきと考え、質問する。

**問** 柴田町には学校図書も含めて蔵書は何冊か。

**教育長** 図書館、生涯学習センター、公民館などの生涯学習施設、町内小中学校の図書を合わせると、約15万1千冊の図書がある。

**問** その図書は全て柴田町図書館で一元管理

されているのか。

**生涯学習課長** 生涯学習施設の図書は、図書館で管理されている。ただし、随時購入の図書や貸し出し中の図書のリアルタイムな情報は、まだ管理されていない状況である。

**問** 各施設と図書館をネットワーク化し、リアルタイムな情報を得ることは考えられないか。

**生涯学習課長** 一施設のネットワーク整備に約220万円、他に司書の配置に200〜300万円、計500万円前後の費用が必要になる。

**問** 図書館の利用状況をみると、どうしても図書館周辺の町民と、交通の便の悪い地域の町民との利用状況に格差があるが。

用が必要になる。

**問** 図書館の利用状況をみると、どうしても図書館周辺の町民と、交通の便の悪い地域の町民との利用状況に格差があるが。

**生涯学習課長** 例えば、槻木生涯学習センターの予約図書の配本回数を増やしたり、船岡駅や槻木駅に図書の返却ポストを置くなど、今後検討する。

また、4月から、インターネットを利用した図書の貸し出しも行う。

また、4月から、インターネットを利用した図書の貸し出しも行う。



我妻弘国 議員

## Q 授業を理解できないのが不登校の大きな原因では

## A 平日にも学び支援の協力をもらい、学びのつまずき解消に努力したい



仲間づくりが一番（槻木中学校サッカー部）

**問** 仲間づくりが一番大事と思うが、どのように進めているのか。

**教育長** 教師と生徒の信頼関係をづくり、子ども同士の信頼関係をつくっていく。消につながついていくと考える。

**問** アベノミクスは大都市ばかりで、地方に及んでいないと思う。そのため、就学援助数が増えている。その実数は。

**教育総務課長** 小中学校合わせて293人、うち生活保護該当者は26人である。

**問** 宮城県は、不登校の児童生徒が多いといわれている。授業を理解できないのが、大きな原因ではないか。

**教育長** 今年度から平日にも学び支援の協力をもたせて、学びのつまずき解消に努力したい。

**問** 学校全体で情報の把握をしているのか。

**教育長** 4月第1回の職員会議後に、子どもたちの情報交換会を持ち、学校教員全てで共有化し、指導に取り組んでいく。トップを踏んでいる。

**問** 不登校の初期対応の遅れがあるのでは。

**教育長** 非常に複雑な要素があり、教員だけで解決できない場合に、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの協力をもらい、保護者との連携をとって進めている。しかし、学級担任がうまく連携をとれなかったりで、苦しんでいることも実情である。



# 一般質問

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

## 舟山 彰 議員

**問** 「槻木まちづくり研究会」の出した構想は、27年度予算案に反映されるのか。

**答** 新組織が具体的な計画を策定したときに、補正予算で対応する。

## 吉田和夫 議員

**問** しばた桜まつりで、船岡城址公園西側駐車場のトイレ対策は。

**答** 船岡城址公園西側駐車場に、仮設トイレ1基を設置する。

## 佐々木 守 議員

**問** 障がい者や認知症の方が事件に巻き込まれないための対策は。

**答** 警察や柴田町地域包括ケアネットワーク連絡会を通じ、事故の未然防止強化を図っている。

## 有賀光子 議員

**問** 子育て支援新制度が4月から始まる。待機児童解消には、新制度へどう反映させるのか。

**答** 27年4月、3件の小規模保育事業を実施する。28年度以降は、家庭的保育事業を整備する。

## 広沢 真 議員

**問** 仙南広域で問題になっている放射性物質を含む農業廃棄物処理についての町長の考えは。

**答** ことし2月の広域の首長会議、で一般廃棄物との混焼の方向で検討していくことになった。

## 白内恵美子 議員

**問** 町内で民間が実施した子どもの甲状腺検査に多数申し込みがあった。町が実施すべきでは。

**答** 県の有識者会議で検査の必要性がないということなので、町として実施は考えていない。

**問** 町のふるさと納税の事業項目に、新図書館建設基金を追加することを提案する。

**答** 町長が必要と認める事業に、体育館建設、図書館建設、学校給食センター建設を加える。

## 我妻弘国 議員

**問** 観光客の目にとまり、買い求めてもらえる土産づくりをどのような考えで進めているのか。

**答** ネーミングやパッケージ工夫、地元・期間限定品・絶品を取り上げ、PRの強化を図る。

## 公開議員研修会・議会懇談会を開催します

主催  
柴田町議会

### 議会懇談会

議会では、議会の活動を町民の方々に報告するとともに、議会や町政に対する意見・要望などを直接聞かせていただくために、「議会懇談会」を開催いたします。

当日は、次の内容で行います。多数のご参加をお待ちしております。

- (1) 平成26年議会懇談会での要望事項等の報告
- (2) 平成26年度議会活動報告
- (3) 懇談1 テーマ「おしえてください。あなたの健康づくり」
- (4) 懇談2 町政・議会全般について

■開催日時、会場などは、次のとおりです。(対象行政区以外の会場でも参加できます。)

開催日時	会場	対象行政区
6月17日(水) 午後7時～9時	槻木生涯学習センター (3階会議室)	13.14.15.16.17A. 17B.18A.18B.19.20
	柴田町保健センター (4階会議室)	1.2.3.4.5.6A.6B.7A. 7B.8.9A.9B.11C
	船迫生涯学習センター (2階会議室)	10.28.29A. 29B.29C.29D
6月18日(木) 午後7時～9時	西住公民館(ホール)	30
	船岡生涯学習センター (2階和室)	11A.11B.11D. 12A.12B
	農村環境改善センター (1階農事研修室)	21.22.23.24. 25.26.27

各懇談会場に無料の臨時託児所を開設します。  
利用を希望される方は6月12日(金)までに議会事務局へお申し込みください。(事前に申し込みのない方はご利用できません)



しばた健康づくりポイント対象事業

どなたでも  
参加  
できます!

### 公開議員研修会

- 研修テーマ  
「実践! 健康づくり  
～健康で長生きするために～」

#### ● 講師：鈴木 省三氏

仙台大学 副学長  
スポーツ健康科学研究実践機構長  
研究領域：運動生理学(トレーニング・コンディショニング)  
免許・資格：国際ボブスレー・スケルトン連盟 Jury、CSCS  
(NSCA ストレngth&コンディショニングスペシャリスト)



- と き：平成27年5月18日(月)  
14:00～16:00
- ところ：柴田町保健センター4階会議室
- 参加費：無料
- 持ち物：タオル、しばた健康づくりポイントカード  
(カードがなくても参加できます)

町議会では、毎年公開議員研修会を開催しています。今回のテーマは、「健康づくり」です。腰痛防止の体操など、日常生活に役立つちょっとした体操を取り入れて研修します。



議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
各課の仕事を  
調査しています。

## 総務 常任委員会

平成27年1月29日(木)



白幡集会所

### 調査内容

- ①自主防災組織の活動状況 [総務課]
- ②槻木事務所内の管理及び利用状況 [槻木事務所]

### 調査結果

- ①全ての行政区において自主防災組織が結成されている。今後は、組織同士の交流を働きかけるとともに、災害時の要援護者名簿についての情報を共有化するなど、取り扱いを検討すること。
- ②お客様に不便をかけることのないように、業務に精励すること。

## 文教厚生 常任委員会

平成27年1月13日(火)～1月14日(水)

### 調査内容

- ①町内史跡などの現状 [生涯学習課]
  - ②放課後児童クラブの活動状況 [子ども家庭課]
- ※下記については、現況の報告を受けた
- ◆第6期介護保険事業計画 [福祉課]
  - ◆新型インフルエンザ等対策行動計画 [健康推進課]

### 調査結果

- ①文化財を保護し活用するために、小冊子やDVDなどを作成するとともに、職員や民間の人材育成を図ること。
- ②対象児童が小学6年生まで引き上げられることから、保育スペースを確保するとともに、船岡小学校区への児童館設置を検討すること。



船岡放課後児童クラブ

## 産業建設 常任委員会

平成27年1月14日(水)～1月15日(木)



鷺沼1号雨水幹線工事現場

### 調査内容

- ①柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼1号雨水幹線工事  
柴田町公共下水道事業大原污水幹線工事 [上下水道課]
- ②槻木地区雨水対策工事の進捗状況 [都市建設課]
- ③柴田町商工会の事業内容の現状 [商工観光課]
- ④有害鳥獣対策の現状と今後の展望 [農政課]

### 調査結果

- ①大原污水幹線工事箇所は、交通量が多いので、夜間の交通安全にも十分配慮すること。
- ②槻木地区雨水対策工事は、昼夜を問わず安全には十分配慮するとともに、工期の遵守に努められたい。
- ③小規模企業の振興と地域経済の活性化に向けて、商工会とともに尽力されたい。
- ④有害鳥獣対策は、行政だけでなく、集落ぐるみの対策をとるよう指導していくこと。



# あなたの一言



と い え み  
土井 絵美さん  
(船岡新栄 在住)

## ●柴田町に住んでよかった点は？

国道4号線、東北本線と交通の便が良いこと。また、買い物ができる店が以前住んでいた所より多く、近い場所にあり便利です。

をしてほしいです。

## ●議会だよりを読んでいますか？

毎回読んでいます。特に一般質問に興味を持って読んでいます。

## ●柴田町の好きな風景、場所は？

太陽の村から見下ろす、柴田町の景色が好きです。白石川堤の一目千本桜は、とてもきれいで好きです。

## ●議会、議員に何を望みますか？

少子化の時代だからこそ、子どもが安心して遊べる公園や、通学路の整備を望みます。

## ●町に何を望みますか？

仙台大学前の新栄通線に信号機が設置されましたが、通学路の歩道がない所や道幅の狭い所の整備

## ■議会から一言

笑顔で子育てができる環境整備に努めていきたいと思っております。

# 未来へ向けて

## 表紙について

4月18日(土)、絶好のコンディションのもと、第9回柴田さくらマラソン大会が開催されました。全国から約2,600人もランナーが参加し健脚を競いました。ボランティアの皆様お疲れ様でした。



このしばた議会だより148号は、約15,500部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。

## 編集後記

新緑の季節、新生活をスタートした人も、少しは慣れたころでしょうか。

ことしの議会懇談会の主テーマは「健康づくり」ということに決まっています。過ごしやすい季節にウォーキングなどを始めると、長続きするということが言われています。健康づくりに心地よい汗を流し、充実した日々を送りたいものです。

今回、議会だよりを編集している議会広報常任委員会のメンバーは、全員再任となりました。そこで、ことしは、「町村議会広報全国コンクール」に応募するという目標を定めました。このことは、読みやすく、分かりやすい議会だよりになり、レベルアップが図られるということからです。

今後ともご愛読いただくようお願いいたします。

議会広報常任委員会 委員長 安部 俊二

## ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

6月会議は

6月8日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

6月8日(月)・9日(火)・10日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

## 町ホームページに本会議審議等結果を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況を掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください